胡瓜

子如鮈、正義又云、瓞是鮈之別名、爾雅疏亦云、瓞一名鮈、皆可證釋草瓞鮈以鮈釋瓞也、源君連引瓞鮈二字者誤、說文、瓞瓞也、又云、瓞小瓜也、徐音蒲角切、無鮈字、則知鮈俗瓞字、新井氏曰、據詩箋、瓞謂瓜之近本而小者、非一種小瓜之名、源君引爲瓜名、非是、

〔小大君集〕おなじ人、〇平兼盛 大監物なりし時、ないし所にみかきまうしに、おほどねりのひきいでにきたりて、ある人内侍のすけのしるやうありて、そこに有けるおりなりければ、まへにありけるたちふといふうりを、きなるしきしにつゝみて、おほどねりなりけるおきなにとらせたりければ、くらづかさにつきて、そこよりいふ、

山しろのとはにかよひてみてしがなうりつくりける人のかきねを

かへし

とことはにゆけばなりけりうりつくりそのことなきにたてりしや君

〔眞本新撰字鏡十一瓜〕瓢甫田反、平、黃瓜也、

〔本草和名十八菜〕胡瓜胡域多之、故以名之、出孟詵食經、一名再熟瓜出崔禹、一名勒瓜小而多汁、一名青瓜已上二名出兼名苑、和名加良宇利、

〔倭名類聚抄十七蓏〕黃瓢　陸機瓜賦云、黃瓢白瓟音搏、瓢音蒲田反、黃瓢和名木宇利、陸詞切韻云、瓢黃瓜也、

胡瓜　孟詵食經云、胡瓜寒不可多食、勳寒熱發瘧病、和名曾波宇里、俗云木宇利、

〔伊呂波字類抄加殖物附殖物具〕胡瓜胡地多之、故以名之、出孟詵食經、再熟瓜出崔禹、勒瓜小而多汁、早青瓜已上二名出兼名苑、已上四名カラフリ、見本艸、

〔同機殖物附殖物具〕黃瓜キウリ　黃瓢蒲田反、黃瓜名也、白瓟　胡瓜已上同、キウリ、

〔新猿樂記〕七御許者、食飲愛酒女也、所好何物、〇中略 菓物者、無核温餅、勝粉團子、熟梅和、胡苽キウリ黃、

〔易林本節用集幾草木〕胡瓜キフリ

〔和爾雅七菜蔬〕胡瓜キウリ黃瓜同ソバウリ